

# 地域で連携した通学路の見守り ～みまもりたい♡による地域の安心・安全向上への取組～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
市川市立 菅野小学校	市川市立菅野小学校学校運営協議会 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 3名 3名 地域コーディネーター 0名 0名	第二中ブロック地域学校協働本部



## 取組の背景及び目標や目指す姿

### 背景

2019年、学区に東京外郭環状道路(地下)と国道298号線(地上)が延線・開通したことに伴い交通量の大幅な増加、大型車両の日常的な通行が見られるようになった。また、通勤通学時間帯に側道を利用して渋滞を迂回する車両も増加したため、保護者・学校・地域が協働して児童生徒の安全な通学を保障する必要が生じた。

### 目標や目指す姿(学校)

誰もが幸せになれる学校  
子どもが元気に登校し、安心・安全な学校

### 目標や目指す姿(地域)

「あんしん」「あんぜん」「あいさつ」3つの「あ」を大切にする地域



## 市川市立菅野小学校学校運営協議会 の特徴

### 委員の立場や属性等

- |                                      |                                  |
|--------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自治会・町会役員    | <input type="checkbox"/> 対象学校校長  |
| <input type="checkbox"/> 現PTA本部役員    | <input type="checkbox"/> 対象学校教職員 |
| <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動推進員 | <input type="checkbox"/>         |
| <input type="checkbox"/> 元隣接私立学校管理職  | など、計 <b>14</b> 名で構成              |
| <input type="checkbox"/> 地域活動団体代表    | 年間平均 <b>5</b> 回程度開催              |

### 効果的な運営の工夫

- ◆授業参観、行事参観を取り入れ、児童と教職員の様子を直接知る機会を設けて実態に即した協議ができるようにしている。
- ◆地域学校協働活動推進員を中心に、協働活動の様子や進捗を学校運営協議会の場で共有し、活動のフィードバックとしている。
- ◆感染症対策等で対面での開催が困難な場合は書面による開催とし、関係性を絶やさず運営できるようにしている。
- ◆地域の会議を設ける場として、外から施設管理が可能な会議室を活用し、学校施設を地域活動に利用しやすくしている。



## 特徴的な取組と成果・効果

### 取組

#### 学校運営協議会

「児童の安心・安全」の視点を持ち、地域での児童の様子や危険箇所について情報交換を運営協議会内で都度行っている。文部科学省総合教育政策局発行の「登下校見守り活動ハンドブック」を運営協議会内でも配付し、地域ぐるみでの登下校見守りの方法や効果について共通理解を図っている。



学校運営協議会の様子

#### 地域学校協働活動

ビブスを貸与する際「みまもりたい登録票」により活動に参加する人材を登録し、交通量の多い登下校時間帯を中心に危険箇所立つシフト表を推進員が作成・配付して活動している。併せて、コミュニティマップを作成し、危険箇所の周知とともに地域での見守りを啓発している。



登校見守りの様子

### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

地域学校協働活動推進員が学校運営協議会委員を兼ねることで学校の課題を理解・把握し、地域ネットワークを活用して課題解決にあたるような仕組みになっている。当該校だけではなく、中学校ブロックとして各推進員と各校管理職が情報を持ち寄り活動状況を報告し合う機会を定期的に設けることで、校種を超えて、中学校ブロックを一つの地域として子どもたちを育てる雰囲気醸成している。

### 成果・効果

#### 【事故への初期対応】

- ◆見守り活動中に発生した交通事故に対して迅速に対応できた。
- ◆接触事故の回避。
- ◆校区の不審者発生時、迅速にみまもりたいのネットワークで地域住民によるパトロールを実施。

#### 【地域人材との交流】

- ◆みまもりたい活動を行っている住民と、児童との交流が活発化。
- ◆教育活動内に地域人材を活用する機会の増加。

#### 【地域施設・企業の協力】

- ◆通学路にある施設も活動に協力。
- ◆警備員を見守り時間帯に合わせて増員、一緒に見守りを実施。

#### 【指標】

	指標1		指標2	
	学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針についてわかりやすく伝えている。		保護者や地域の方とともに子どもを育てる取組をしている(肯定的な回答)	
R2	88 %	-3 %	90 %	-3 %
R3	90 %	+2 %	90 %	±0 %

学校評価アンケートより(前年度比:赤字)

- ⇒児童の登下校安全見守りを通じて、新たな地域のネットワーク構築がなされている。
- ⇒地域と家庭、学校の役割分担をしながら、自分たちでより良い地域づくりを行おうとする地域住民の当事者意識の高まりが見られる。
- ⇒教員、保護者が活動主体になりがちな登下校見守りを、地域で継続的に行える仕組みづくりができています。